

生活科の実践

札幌市

生活科

2年

地域にあるトマトジュース用の苗を育てよう！

『みんなで育てよう』
～「凜々子（りりこ）VSオオカミの桃」～

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

トマトジュース用の苗を栽培活動の中心的な素材にしました。カゴメのジュース用トマト「凜々子」と鷹栖町の「オオカミの桃」用トマトの、変化や生長の様子を比較しながら、かかわりをもたせていきました。「植物（トマト）への親しみや大切にすることが一層高まる」ことをねらった単元です。

学習活動の流れ（13 時間）

トマトのお世話に興味をもち、特徴的な名前や種類の違い、地域の特産品などを比較して学習をはじめます。

芯止まりやジョイントレスなど違いが分かりやすい種類です。

専門家から学ぶ場面として、カゴメとJAたいせつのトマトの先生にお世話の特徴を教えてくださいました。

目の前で作るトマトジュースは、トマト嫌いの子も進んで、味わいました。

りりこ vs オオカミの桃（2）

- ・ トマトの苗との出会い
- ・ 苗を鉢に植え替える
- ・ 学級園にも野菜を植えよう
おばけカボチャなど

お世話の工夫（2）

- ・ 専門家の方からのアドバイス
- ・ お世話の仕方を調べよう
- ・ お世話の仕方の振り返り（中間交流会）
- ・ お世話の工夫

お世話をまとめて 伝えよう（6）

- ・ 収穫祭の準備
- ・ 栽培活動のお世話を振り返る

収穫祭をしよう（3）

- ・ トマトジュースおいしいね
- ・ カレーやシチューも作ろう
- ・ おばけカボチャで表現活動
- ・ お世話になった方への発信

トマト栽培が盛んな地域での実践です。扱うのは、特産品である2種類のトマト。主にトマトジュースに加工される種類です。

子どもが次々と意欲を高めて取り組む学習活動です。

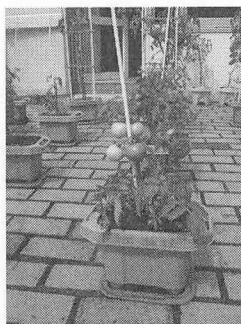


トマト大きくなあれ

教材・活動の Point!

1. 意欲的にスタートを～出会いの活動の工夫！

「野菜の苗をもらったよ」と、教室にトマトの苗(凜々子)を置きました。野菜の種類を教えずとも、自分たちの経験やにおいから、きっとトマトかミニトマトだと予想。オオカミの桃の苗が揃ってから苗を鉢に植え替える活動を行いました。「育てるなら、どちらがいい？」と問いかけると、子どもたちの方から自然と対決ムードになりました。それではと、「凜々子VSオオカミの桃」として育てることになりました。①トマトのことをもっと知ること、②苗による生長の違いに気付くこと③食のことを考えたかかわりができるようになることの3点をねらって、学習をすすめていきました。



2. 意欲を増すための中間交流会～自慢大会！

「トマトジュース用の苗」との出会いで生まれた生長への期待をもとに、子どもたちは試行錯誤しながらお世話を続けます。本時の学び合いは、これまでの取組について、自分や友達のお世話や専門家のアドバイス、苗の違いを通しての振り返り、「これまでの取組を見直し、改善したいことや深めたいことの実践化へと一層意欲を高める」場面になります。

